



# 霧が丘

令和5年10月20日  
横浜市立義務教育学校  
霧が丘学園  
校長 根岸 淳

## 引き継がれる「きりたま」

中学部副校長 濱部 剛

日増しに秋が深まり、朝晩は肌寒さを感じることも多くなりました。10月6日（金）に令和5年度の前期終業式が行われ、まだ肌寒かった4月から猛暑が続いた10月までという長い前期が終わりました。霧が丘学園に入学した1年生や中学部に進級した7年生は、生活が大きく変化し、心も体も大きく成長したと思います。小学部では10月21日（土）に「きりっ子運動会」、中学部では10月26日（木）・27日（金）に「学習発表会（あすなろ）」が開催されます。前期で学習してきたことを生かして、素晴らしいものを創り上げてくれることと思っています。

中学部では10月10日（火）に、第43期生徒会本部役員の解任式と第44期生徒会本部役員の認証式が行われ、7名の本部役員が新しい霧が丘学園の顔として紹介されました。新しい7名の本部役員は「もっと学年と学年の距離を縮めて、わからないことを共有していくようにする。」「小中の交流が深まるような新しい行事を作る。」「他学年との挨拶やコミュニケーションを推進し、学園全体の絆を強める。」「生徒の意見を取り入れることで、多くの人に学校生活を楽しいと感じてもらう。」等を公約として掲げています。第44期本部役員の7名には、これまで霧が丘の先輩が培ってきた霧が丘魂（きりたま）を受け継ぎ、新しい「きりたま」を積み上げていってほしいと思います。



認証式の様子

霧が丘学園のバトンは、これまで支えてくれていた9年生から後輩へ引き継がれました。「すすんで挑み、自分をみがく」これからは1年生から8年生の皆さんで霧が丘学園を盛り上げていってくれることと思います。



8年生の教室へ向かう壁に  
展示された黄金のバトン

そして今年度も6年生が立ち合い演説会に参加したり、実際に仮投票を行ったりと、来年度から始まる中学部生活を見据えた取組が行われました。また、選挙活動で使用するのぼりや、投票箱、記載台は緑区選挙管理委員会のご協力を得て実際の選挙で使用するものをお借りすることができました。

9年生は3年後には成人となり、選挙権を得て地域を支えていく存在となります。霧が丘で育った児童・生徒たちが霧が丘学園をはじめ、霧が丘の地域を支える先輩へと成長してくれることを楽しみにしています。

\*\*\*\*\*

【学校の様子をホームページにてお知らせしています】  
各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。  
<霧が丘学園ホームページ>

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード